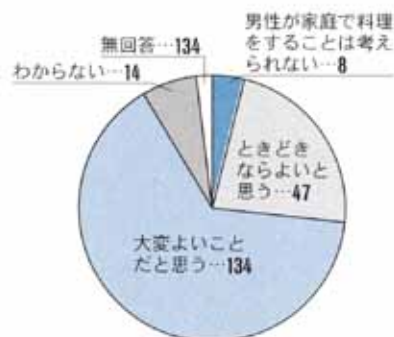


男女共同参画社会を考える 3

飯館村男女共同参画プランに関するアンケート結果から

①夫婦や恋人同士でいっしょに料理を作ることにしていますか。



②「結婚は個人の自由だから、結婚してもいなくてもどちらでもよい」という考えについてどう思いますか。



①では「男子厨房に入らず」は昔のことというような結果が出ており、夫婦仲良く料理する姿が目に見えようです。②では、「結婚は個人の自由」に賛成する人が反対する人を上回っており、多様な考え方を認め合う環境作りができつつあるように思われます。

でも、例えば「あそこの嫁は、仕事が忙しいからって料理は姑さんに任せきりだ。うちは、かあさんが料理上手で助かるな」など、よその家と常に比較していませんか？ 真の男女共同参画社会には、多様な考えを認めることが必要ではないでしょうか。

何に使うの？ 教えて 村の予算 第3回 少子化対策予算

大館村と飯館村が合併して飯館村が誕生した昭和31年から、もう46年が経ちました。合併当時、飯館村の小学生は合わせて約2,500人いました。その20年後の昭和50年頃には1,200人になり、そしてその20年後、つまりここ数年は約850人程度です。約40年間で村の小中学生の数は3分の1に減ったということになります。おそらく、あと10年過ぎると、小中学生の数は600人を切ってしまうのではないかと思います。

したがって、高齢者・福祉対策と同じかそれ以上に子供が少ないことに対する対策、つまり少子化対策が村の重要な課題となっていることがおわかりいただけるのではないのでしょうか。

村では、子供の医療費無料化の年齢を3歳未満から5歳未満へ平成10年から引き上げ、さらに、昨年4月から就学前の子供まで引き上げ、少しでも親の負担を軽くして子供の育てやすい環境を作ろうとしました。これに対する村の予算は今年度約1,000万円です。

また、若いお母さんが勤める機会が多くなっていますので、少しでも働きやすい環境にしようとして平成12年度から、幼稚園の「預かり保育」を、平成13年には飯櫃の保健センター内に「保育所」を開き、さらに今年から小学校低学年の

生徒を放課後預かる「学童保育」も始めました。この3つの事業に村では平成14年度に約2,800万円予算化しているところです。

また、若い方々に村に残ってもらわなければ子供は増えないということで企業支援対策をつくったり、昨年は深谷に独身者用住宅を6戸建てました。さらに、今年は笠石地区に3棟6戸の一般住宅を造り、少しでも残っていただこうと務めているところです。この建設のための予算は約1億2,000万円です。

結婚を勧めるということも少子化対策の大きな柱でありますので、今年から農業委員会内に結婚難の課題に取り組む人を配置し、仲人奨励金も50万円ほど予算化しています。

私たちの老後をみてくれるのは村の子供たちです。子供が大人になり、働いて、その働きによって私たちの老後が保証されます。老後を支える子供、若者が少なくなっていくことは、自分たちの将来にイエローカードが突きつけられたようなものですから、皆で「少子化対策」に全力で取り組んでいかなければなりません。（予算については、村の予算書P18-20など）をご覧ください。

（次回は産業振興対策についてです）